

うっしっしいー情報2021

7月市



豊岡農業改良普及センター

7月14日に行われましたセリ市全体の平均価格は、去勢が74万1千円、雌が77万3千円でした。

普及センター調べ（税込価格）
（全共幹旋牛を含まないため、JA公表数値とは異なります）

地域	去勢			雌			総計	
	頭数	DG	平均価格	頭数	DG	平均価格	頭数	平均価格
赤佐	6	1.028	698,317	12	0.893	674,667	18	682,550
丹波篠山	10	0.946	734,690	9	0.804	601,700	19	671,695
丹波	35	0.973	747,026	15	0.841	765,013	50	752,422
朝来	9	0.968	774,033	12	0.839	739,108	21	754,076
播磨	21	0.952	685,300	23	0.839	662,678	44	673,475
美方郡	42	0.927	722,883	46	0.871	884,161	88	807,188
豊岡	23	0.978	750,296	19	0.875	735,668	42	743,679
養父	18	0.942	809,661	19	0.860	831,600	37	820,927
摂津・神戸	20	0.968	755,865	18	0.834	787,294	38	770,753
県北C	14	0.928	737,629	8	0.808	784,025	22	754,500
市場全体	198	0.955	740,789	181	0.853	773,428	379	756,376

7月市種雄牛ランキング

順位	種雄牛	去勢			雌			総計	
		頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均価格
1	丸若土井	41	0.954	781,724	34	0.852	837,941	75	807,209
2	丸池土井	16	0.965	786,638	14	0.817	822,014	30	803,147
3	照和土井	37	0.961	719,727	47	0.889	790,151	84	759,131
	総計	198	0.955	740,789	181	0.853	773,428	379	756,376
4	宮菊城	11	1.026	771,900	10	0.925	731,500	21	752,662
5	芳悠土井	23	0.948	741,543	17	0.856	762,171	40	750,310
6	芳山土井	11	0.964	678,300	6	0.840	779,167	17	713,900
7	照忠土井	15	0.944	715,367	11	0.834	703,500	26	710,346
8	照立土井	7	0.974	748,157	8	0.832	650,238	15	695,933
9	丸春土井	9	0.906	686,522	12	0.805	669,258	21	676,657

価格は税込み (10頭以上の出荷があった種雄牛のみ記載)

ランキング種雄牛の育種価

	種雄牛	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	歩留	脂肪交雑
1	丸若土井	B	A++	A++	A	A++	A++
2	丸池土井	D → C	A++ → A+++	C → D	A → B	A+ → A++	A++ → A+++
3	照和土井	A+	A+	C	B	A	A+
4	宮菊城	A+ → A	A++ → A+	A++	B → A	A+	A
5	芳悠土井	A	B	B	B	B	A++
6	芳山土井	A+	A++ → A+	A++	C	A+ → A	A+ → A
7	照忠土井	B	A++	A	A+	A+++ → A++	A
8	照立土井	B → A+	B	A → A++	A → B	A → B	A
9	丸春土井	C → B	C → A	B	B	B → A	A+ → A++

北部農業技術センター提供 (育種価評価は令和03年4月現在)

乾草とストロー 粗飼料の採食性

〇はじめに

乾草（ハイ）とストロー（わら）の違いを知っていますか？

乾草は、イネ科の場合、穂が出る出穂期から開花期に収穫されます。栄養価は TDN で 55%から 65%で粗飼料としての物理性と栄養補給としての役割を果たします。

ストローとは、種子や穀類を収穫した残さで、粗タンパク質が低く、繊維含量が高い飼料特性を持っています。TDN は 40%から 50%と乾草に比べ消化率、エネルギーは低くなっています。牛に満腹感を与え、牛を太らせ過ぎないために有効ですが、場合によっては牛が栄養不足になる場合もあります。

市場に流通している乾草、ストローにはいくつか種類があります（表1）。また、購入したロットによっても大きな品質差があります。今回はチモシーとスーダングラスについて実例を見ていきましょう。

表1 市場に流通している乾草、ストローの種類

区分	草種
乾草として主に流通	スーダングラス オーツ
乾草とストローの両方が流通	チモシー バミューダグラス
ストローとして主に流通	ライグラス（ペレニアルライグラス） フェスク（トールフェスク） ウィート（小麦わら） 稲わら



写真1 ライグラスストロー

〇チモシーの採食性

北海道産チモシー1番草の採食量と消化特性を調べたデータです（表2）。

チモシーA は出穂前の刈り取りで、TDN70%と濃厚飼料並みに高く高品質な乾草です。通常はこれほどの高品質なチモシーは市場には流通していません。チモシーB、C は出穂期から開花期にかけて刈り取られたもので TDN が 66%と一般的によく流通している品質の乾草です。チモシーD は結実期に刈り取られたもので TDN が 49%と刈り遅れでストローに近い品質のものです。

表中の消化速度定数とは、牛の第一胃内で乾草が消化されていくスピードのことで、高いほど消化が速いため牛はたくさん食べることができます。また、消化管内滞留時間は、食べた飼料の消化されない部分がふんとして出てくるまでの時間です。長いほど腹持ちは良くなりますがたくさん食べることはできなくなります。

チモシーA はチモシーD に比べ、消化速度定数が 0.042 から 0.083 と2倍速く、消化管内滞留時間が約 15 時間も短いことから採食量が 6.3kg から 8.7kg と 1.4 倍多くなったと考えられます。同じチモシー乾草でも濃厚飼料並の栄養価を持つものからストロー並のものまで、飼料品質の違いが大きいことをこの試験結果は示しています。

表2 チモシー乾草の採食量と消化性

ロット	生育ステージ	採食量(kg)*	TDN(%)	消化速度定数	消化管内滞留時間(hr)
A	出穂前	8.7	70	0.083	77.3
B	出穂期	7.6	66	0.068	84.8
C	開花期	8.0	66	0.058	75.4
D	結実期	6.3	49	0.042	92.2

*現物量（水分12%）、体重450kgに換算

（1998甘利らのデータ一部改変）

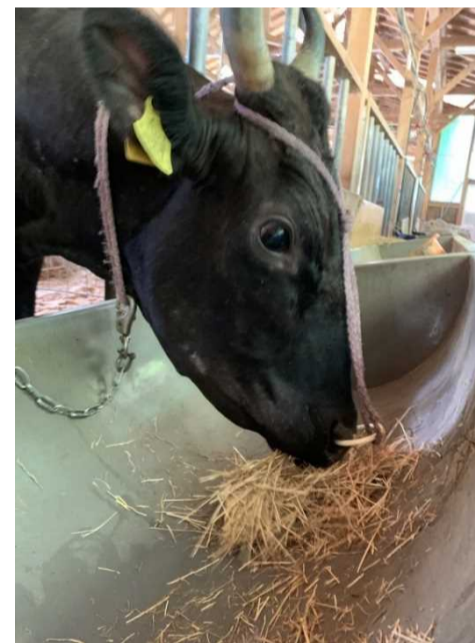


写真2 スーダングラス乾草採食中

〇スーダングラスの採食性

同様の試験を 5 種類の輸入スーダングラス乾草で行った結果です（表3）。採食量の低いスーダングラス N から採食量の高いスーダングラス J まで、チモシーと同様に採食量が 7.5kg から 10.1kg と 1.3 倍の差がありました。市販されている乾草であっても品質に違いがあり、採食量に大きく影響を与えることがわかります。

表3 スーダングラス乾草の採食量

ロット	採食量(kg)*
J	10.1
K	9.2
L	9.2
M	8.8
N	7.5

*現物量（水分12%）、体重450kgに換算
（1998森のデータを一部改変）

〇おわりに

採食量は、畜産農家自らが粗飼料の品質を判断する上で、一番わかりやすい項目です。粗飼料全体の採食量を観察して、但馬牛繁殖雌牛の必要量 5kg~6kg を採食しているかどうかチェックすることをおすすめします。普段から牛が食べる草、食べられる草を必ず給与するようにしましょう。粗飼料の価格がじわじわと上昇しています。粗飼料の飼料特性を考えて上手に利用しましょう。